

■公益社団法人日本補綴歯科学会 第 134 回学術大会

■メインテーマ

補綴の未来、歯科の未来。「不易流行（変わらないもの、変えていくもの）」

■次期理事長講演

5月17日（土） 第1会場 13:20～14:20

補綴の力

座長：村田比呂司（長崎大）

講師：大久保力廣（鶴見大）

公益社団法人日本補綴歯科学会第41代理事長に就任される大久保力廣教授に、「補綴の力」と題して、日本、そして世界の歯学研究、歯科医療に大きく貢献する日本補綴歯科学会の今後2年間の将来を見据えた学会運営方針をお話しいただく。学術大会が5月の開催となったため、理事長就任直前のご講演となるが、大久保次期理事長の熱い思いを是非感じていただきたい。

（座長 村田比呂司）

■海外特別講演

5月18日（日） 第2会場 9:00～10:30

トップサイエンティストの語る歯学研究

座長：秋葉 陽介（新潟大）

大野 充昭（岡山大）

講師：小野 法明（テキサス大）

補綴臨床において、骨や歯そのものの生物学的特性の理解は不可欠である。最前線で活躍する研究者に歯学研究の課題と未来についてご講演いただくことは、基礎研究に携わる研究者にとっても、臨床に携わる歯科医師にとっても、非常に有意義である。本シンポジウムでは Bone Biology におけるトップサイエンティストの1人である小野法明先生のご研究を紹介いただき、歯学研究の未来像を会員と議論したい。

（座長 秋葉陽介，大野充昭）

■特別シンポジウム

5月17日(土) 第1会場 10:40～12:10

新たな時代に対応した無歯顎補綴臨床の展開

座長：村田比呂司（長崎大）

シンポジスト：杉田龍士郎（東関東支部）

松田 謙一（関西支部）

中居 伸行（関西支部）

高い割合で多くの高齢者が全部床義歯を装着している。以前に比べ高度に吸収した顎堤、菲薄な粘膜、口腔乾燥、新義歯への順応性の低下等のため、無歯顎補綴では難症例が増加している。そのため超高齢社会における無歯顎補綴臨床は従来の概念では対応できないのが現状である。本企画では無歯顎補綴治療の診断、手技そして難症例への補綴処置について、無歯顎補綴の理論と実践を兼ね備えた著明な講師に解説していただき議論したい。

（座長 村田比呂司）

■メインシンポジウム（専門医研修単位認定対象セッション）

（特非）日本顎咬合学会 共催

5月17日(土) 第1会場 15:10～17:10

日本顎咬合学会合同シンポジウム 咬合挙上を再考する

座長：馬場 一美（昭和医大）

貞光謙一郎（関西支部、日本顎咬合学会理事長）

シンポジスト：窪木 拓男（岡山大）

山下秀一郎（東歯大）

渡辺 隆史（日本顎咬合学会）

咬合挙上は、咬合異常、咬合高径の低下を伴う咬合再建などの治療において用いられる比較的大規模かつ包括的な介入を伴う手法である。したがって、その適用には賛否があり、その効果や長期的な予後については依然として議論が続いている。本メインシンポジウムでは、咬合低下の診断を含めた理論的背景、臨床的意義、ならびに最新の知見をもとにした適用方法について再考する。

（座長 馬場一美、貞光謙一郎）

■国際シンポジウム

5月17日(土) 第3会場 9:00～10:30

Nakao Foundation 創設5周年企画「補綴の未来、歯科の未来。」

座長：猪越 正直 (科学大)

峯 篤史 (大阪大)

シンポジスト：江草 宏 (東北大)

Sreenivas Koka (Executive Leadership Enterprises)

Frauke Müller (University of Geneva)

国際シンポジウムは、「補綴の未来、歯科の未来。」というテーマの下、Future Leaders in Prosthodontics workshop (FLiP) の創設者である Sreenivas Koka 先生、FLiP の講師でジュネーブ大学の教授である Frauke Müller 先生、そして日本補綴歯科学会から JPR 編集委員会委員長の江草 宏先生 (FLiP 14 実行委員長) をお招きし、超高齢社会と補綴歯科を中心に、これからの歯科補綴学の未来、歯科の未来についてご講演いただく。

(座長 猪越正直, 峯 篤史)

■日中韓3か国補綴歯科学会・セミナー

5月18日(日) 第4会場 9:00～11:00

Cutting edge of contemporary prosthodontic research

座長：猪越 正直 (科学大)

三浦 賞子 (明海大)

講師：阿部 真澄 (東北大)

岡田 佳恵 (大阪大)

Hao Yu (Fujian Medical University)

Ji-Man Park (Seoul National University)

デジタル技術の進展や新素材の開発、AI や新たな研究手法の導入により、現代の補綴歯科学研究は多様に進化を遂げている。本セミナーでは、日本、中国、韓国を代表する研究者に最新の研究成果をご披露いただく。研究成果の臨床応用や補綴歯科治療の未来像について学際的な視点から考察し、研究者と臨床家が知見を深める場とする。本セミナーが、補綴歯科医療の発展に寄与し、患者ケアの向上を目指すための一助となれば幸いである。

(座長 猪越正直, 三浦賞子)

■ PCSP 特別講演

5月18日(日) 第4会場 11:10～12:10

Occlusion, TMD, orofacial pain: An evidence-based overview & update with recommendations

座長：小川 徹(東北大)

太田 緑(東歯大)

講師：Michael John Racich (Pacific Coast Society for Prosthodontics 前理事長)

This lecture will offer a comprehensive overview of these three dental disciplines, presenting an evidence-based and contemporary update on their diagnostic and clinical interrelationships.

本特別講演では、Pacific Coast Society for Prosthodontics の前理事長で、International Congress of Oral Implantologists 専門医、米国口腔顔面痛学会専門医である Michael J. Racich 先生にご講演いただく。Racich 先生は咬合と口腔顔面痛・顎関節症に重点をおいた治療を実践されている。患者が歯科医院を受診する主な目的は、外観の回復、機能の回復、快適さの三つであるとし、これらと顎口腔系機能、特に咬合や顎関節症、口腔顔面痛との関連についての講演をいただく予定である。

(座長 小川 徹, 太田 緑)

■ シンポジウム 1

(特非) 日本顎咬合学会 / 日本臨床歯科学会 共催

5月17日(土) 第1会場 9:00～10:30

咀嚼機構の進化とロボットシミュレーション

座長：小川 匠(鶴見大)

築山 能大(九州大)

シンポジスト：遠藤 秀紀(東京大学総合研究博物館)

東森 充(大阪大学大学院工学研究科)

「咀嚼機構の進化とロボットシミュレーション」をテーマに、進化学とロボティクスの視点から咀嚼機能をご紹介します。脊椎動物の咀嚼機構の進化について、顎関節の構造変化や聴覚機能との関連性、咀嚼の多様性を考察していただきます。また、食塊形成に着目した新たな咀嚼シミュレータの開発について、介護食品評価や咀嚼困難者の病態理解への応用を含めてお話しいたします。補綴学の新たな視点を得る機会となれば幸いです。

(座長 小川 匠, 築山能大)

※遠藤 秀紀先生の講演はライブ配信およびオンデマンド配信は行いません。

■シンポジウム 2

(一社) 日本デジタル歯科学会 共催

5月17日(土) 第2会場 9:00～10:30

無歯顎補綴におけるデジタルワークフロー

座長：正木 千尋 (九歯大)

田中 晋平 (昭和医大)

シンポジスト：上田 貴之 (東歯大)

金澤 学 (科学大)

植松 厚夫 (東京支部)

現代の補綴臨床において、歯科医師および歯科技工士は、デジタル技術の発展に適応するだけでなく、これを活用した革新的かつ効率的なワークフローの構築が求められている。本セッションでは、無歯顎患者に対する可撤性および固定性補綴装置を用いた治療ワークフローについて、最新のデジタル技術を取り入れた実践的アプローチを紹介する。具体的な症例を供覧しながら、診断から設計・製作、臨床応用に至るまでのプロセスを検討し、臨床現場における実践的な知見を提供することを目的とする。

(座長 正木千尋, 田中晋平)

■シンポジウム 3

5月17日(土) 第2会場 10:40～12:10

補綴歯科治療の未来へ向けた体性幹細胞の応用展開

座長：西村 正宏 (大阪大)

山田 将博 (東北大)

シンポジスト：松下 祐樹 (長崎大)

秋山謙太郎 (岡山大)

新部 邦透 (東北大)

口腔組織再生の技術革新は歯科補綴学の発展に不可欠である。近年、体性幹細胞の疾患制御や組織再生における重要な役割が明らかになってきた。本シンポジウムでは、体性幹細胞研究を臨床的視点から推進する第一線でご活躍の講師を迎え、体性幹細胞の動態や機能に関する最新知見を紹介する。さらに、加齢制御や口腔組織再生を標的とした補綴歯科イノベーションの可能性を探るとともに次世代の補綴歯科治療の展望を議論する。

(座長 西村正宏, 山田将博)

■シンポジウム 4

5月17日(土) 第3会場 10:40～12:10

国際的なキャリアパス形成

座長：島田 明子（大歯大）

依田 信裕（東北大）

シンポジスト：末永 華子（シドニー大）

多田紗弥夏（シンガポール大）

木戸 淳太（九州支部）

国際化が進展し多様性が広がる現代社会において、国際標準の歯科医療スキル、研究遂行力、そして教育力を備えた人材育成の必要性が高まっている。本シンポジウムを通し、次世代を担う補綴歯科学会会員の先生方が、海外での歯科医師免許取得、就職、または専門医取得を目指すというキャリアパスを実現可能な選択肢としてイメージできるインスピレーションな機会となることを期待する。

（座長 島田明子，依田信裕）

■シンポジウム 5

日本臨床歯科学会 共催

5月17日(土) 第3会場 13:20～14:50

日本臨床歯科学会合同シンポジウム 審美歯科治療における長期安定性獲得の要件

座長：新谷 明一（日歯大）

尾立 哲郎（長崎大）

シンポジスト：日高 豊彦（西関東支部）

構 義徳（東京支部）

中野 環（大阪大）

補綴治療のゴールには形態と機能の回復に加えて、患者の個性に調和した審美性が求められる。近年では天然歯を超越した美しさを求める患者も増加傾向にあるが、その美しさを長期間維持することは容易でなく、大きな課題となっている。このような状況に対して、日本臨床歯科学会と日本補綴歯科学会が誇る選りすぐりのエキスパートを招き、審美歯科治療の達成点と長期安定性獲得のポイントについて、臨床症例を参照しながら探究する。

（座長 新谷明一，尾立哲郎）

■シンポジウム 6

5月17日(土) 第3会場 15:00～16:30

8020 達成者の臨床像 ～多歯超高齢社会を見据えた補綴臨床～

座長：梅原 一浩(東北・北海道支部)

池邊 一典(大阪大)

シンポジスト：鷹岡 竜一(東京支部)

齊藤 秋人(東京支部)

鮎川 保則(九州大)

現在、8020 達成率は 51.6% に達している。すなわち、少歯高齢社会から多歯超高齢社会になり、欠損歯列の終末像である「すれ違い咬合」への距離感は以前より遠く感じられる。歯が多いこと
の健康長寿に対する優位性は揺るがないもの、要介護者の口腔衛生管理は、歯科全体として取り組
むべき大きな課題である。本企画では 8020 達成者の臨床像について、補綴装置を含めて浮き彫り
にすることを目的とし、その現状を考察する。

(座長 梅原一浩, 池邊一典)

■シンポジウム 7 (歯科衛生士セッション併催)

(一社) 日本老年歯科医学会 / (公社) 日本歯科衛生士会 共催

5月18日(日) 第1会場 9:00～10:30

医科歯科連携における歯科衛生士、補綴歯科専門医の重要性

座長：笛木 賢治(科学大)

二川 浩樹(広島大)

シンポジスト：草島 邦夫(藤田医大)

藤井 重子(医療法人白水会白川病院)

合掌かおり(東海支部)

三輪 俊太(東海支部)

医科歯科連携の重要性が高まるなか、歯科衛生士と補綴歯科専門医の連携は高齢者医療の質を高
める鍵となる。一方、補綴歯科は医科に十分認知されておらず、義歯臨床の重要性が見過ごされる
場面も多い。歯科衛生士は歯科と他職種をつなぐ役割を担い、歯科医師は適切な義歯臨床を提供す
ることで患者の噛む喜びや栄養状態の改善に貢献する。本セッションでは、両者の役割と重要性を
再考し、その必要性を議論する。

(座長 笛木賢治, 二川浩樹)

■シンポジウム 8

(一社) 日本栄養治療学会 共催

5月18日(日) 第1会場 10:40～12:30

日本栄養治療学会合同シンポジウム 歯科と栄養の出会いとこれから

座長：古屋 純一 (昭和医大)

石井 良昌 (日本栄養治療学会)

シンポジスト：菊谷 武 (日歯大)

光永 幸代 (日本栄養治療学会)

嶋津小百合 (日本栄養治療学会)

歯科が専門的に扱う口腔は、消化管の入り口である。消化管の役割は、食物を消化・吸収し栄養として摂取することである。超高齢社会を迎えた現在、リハビリテーション・栄養・口腔の三位一体の取り組みなど、歯科と栄養の連携はますます重要になると考えられる。そこで本シンポジウムでは、日本栄養治療学会との共催により、歯科医師と管理栄養士のそれぞれの立場から歯科と栄養の連携について議論し、今後の展望を模索する。

(座長 古屋純一, 石井良昌)

■シンポジウム 9

(一社) 日本口腔顔面痛学会 共催

5月18日(日) 第2会場 10:40～12:30

口腔の痛みを見極めるために (補綴歯科治療に必要な慢性疼痛の基礎知識)

座長：小見山 道 (日大松戸)

松香 芳三 (徳島大)

シンポジスト：篠田 雅路 (日本大)

白田 頌 (慶應大)

大久保昌和 (日大松戸)

本セッションでは、近年、基礎的研究が進み、臨床での対応も確立されてきた「慢性疼痛」について、基礎と臨床の立場の講師をお招きして考えてみたいと思います。これまで原因不明の疼痛とされていた現象が神経科学の観点から解明されて、不定愁訴などに対する考え方も分かってきました。疼痛学は急速に発展したため、聞き慣れない単語も多いと思いますが、新しい知識を得ることの楽しさを体験して欲しいと思います。

(座長 小見山 道, 松香芳三)

■シンポジウム 10

(公社) 日本口腔インプラント学会 共催

5月18日(日) 第3会場 9:00～10:30

IRPD

—インプラントの併用は部分床義歯治療のゲームチェンジャーになるのか?—

座長：大久保力廣（鶴見大）

兒玉 直紀（岡山大）

シンポジスト：黒嶋伸一郎（北海道大）

奥野 幾久（関西支部）

佐藤 洋平（鶴見大）

部分床義歯治療を成功させるためには回転変位の制御が重要である。しかし、義歯の難症例においては、いかに設計を工夫しても限界がある。近年、インプラントを併用した部分床義歯（以下、IRPD）が用いられるようになり、義歯の回転変位の制御に対して効果を発揮することがわかってきた。しかし、IRPD治療の歴史は浅く未だ不明な点が多い。本シンポジウムでは、IRPDの真の有効性について会員の皆様と議論したい。

（座長 大久保力廣，兒玉直紀）

■日本歯科専門医機構認定共通研修 1

5月16日(金) 第1会場 16:50～17:50

歯科の感染対策

司会：水橋 史（日歯大新潟）

講師：下野 信行（九州大学病院グローバル感染症センター）

■日本歯科専門医機構認定共通研修 2

5月17日(土) 第1会場 18:00～19:00

患者心理を理解したコミュニケーション・5つのヒント

司会：松崎 達哉（九州大）

講師：柴原由美子（柴原歯科医院）

■専門医研修会（専門医研修単位認定対象セッション）

（特非）日本顎咬合学会／日本臨床歯科学会／
（公社）日本口腔インプラント学会 共催

5月18日（日） 第1会場 13：30～15：30

欠損歯列の診断 何を診て何を考えるのか？

座長：小峰 太（日本大）

松浦 尚志（福歯大）

講師：荻野洋一郎（九州大）

三浦 賞子（明海大）

水橋 史（日歯大新潟）

本研修会では、本会の専門医審査委員の3名の先生方に欠損歯列に対する補綴治療前の観察事項、さらにはそれをどう考え、治療計画にどのように生かすのかについて解説いただく。また、固定性補綴装置、可撤性補綴装置での治療にこれらをどのように生かすのか、そのポイントについてディスカッションする予定である。今後、補綴歯科専門医を目指す先生方には是非、聴講いただき、今後の臨床や専門医取得の参考にさせていただきたい。

（座長 小峰 太，松浦尚志）

■修練医・認定医・専門医制度委員会セミナー

5月17日（土） 第4会場 13：20～14：40

補綴歯科専門医取得の要点

講師：鮎川 保則（九州大）

補綴歯科専門医が広告可能になったが、仕組みが煩雑であり、実際にどのようにすれば専門医が取得できるのかわからないというお叱りをいただいている。取得すべき単位には、期間内に必要単位数を満たせばよいものと、毎年必ず単位を取得しなければならないものがあるなど、これまでの学会認定専門医の取得、更新より仕組みが複雑になっている。本セミナーでは、機構認定と学会認定の専門医の相違点や取得、更新の仕組み等を解説する。

（講師 鮎川保則）

■研究企画推進委員会セミナー

5月17日(土) 第4会場 14:50～15:40

咀嚼能力と健康パラメータの関連と検査値のメタ解析

座長：笛木 賢治(科学大)

講師：安部 友佳(昭和医大)

稲用 友佳(科学大)

補綴治療の目的として咀嚼機能の回復がある。これまでにさまざまな評価方法が開発されているが、咀嚼機能検査としての基準値、診断閾値は明確に設定されていない。そこで、研究企画推進委員会では、咀嚼機能と健康関連パラメータとの相関についてのスコopingレビューを実施し、評価値のメタ解析を行っている。本セミナーでは、本研究プロジェクトの進捗状況を報告する。

(座長 笛木賢治)

■医療問題検討委員会セミナー

5月17日(土) 第4会場 15:50～16:40

新規保険収載された補綴歯科治療技術を極める

—治療指針と収載までの経緯、今後の展開—

座長：會田 英紀(北医療大)

山森 徹雄(奥羽大)

講師：鱒見 進一(九歯大)

田上 直美(長崎大)

竹内 義真(日本大)

医療問題検討委員会では令和6年度診療報酬改定において、①フレンジテックに関する診療指針、②接着カンチレバー装置の基本的な考え方、③CAD/CAM冠の診療指針2024を作成し、学会HP上で公開しました。本セミナーでは、これらの指針において示されている適応症や臨床手技、注意点などに加えて、これらの医療技術が保険収載に至った経緯についても解説したうえで、最後に総合討論も行う予定です。

(座長 會田英紀, 山森徹雄)

■診療ガイドライン委員会セミナー

5月17日(土) 第4会場 16:50～17:50

保険収載を目標とした各種診療ガイドライン・治療指針の紹介, 進捗報告

座長：水口 一 (岡山大)
松香 芳三 (徳島大)
講師：覺道 昌樹 (大歯大)
西山 暁 (科学大)
大倉 一夫 (徳島大)
玉置 勝司 (神歯大)

診療ガイドラインは、エビデンス(科学的根拠)に基づいて最適と考えられる治療法等を提示する文書である。その一方で、近年では新規医療技術を保険収載する際に強力に後押しする資料として重要視されるようになった。そこで本セミナーでは、将来的な保険収載を視野に入れ、診療ガイドライン委員会が医療問題検討委員会と協働し、全力で取り組んでいる診療ガイドライン、臨床指針についてその内容の紹介ならびに進捗を報告する。

(座長 水口 一, 松香芳三)

■臨床リレーセッション1

5月17日(土) 第2会場 13:20～14:50

クラウンブリッジ治療の勘所

座長：疋田 一洋 (北医療大)
講師：熱田 生 (九州大)
岩佐 文則 (明海大)
星 憲幸 (神歯大)

現在、補綴学分野ではデジタル技術の導入による大きな変革の潮流の中にあり、特にクラウンブリッジやインプラント治療の分野では顕著である。このような製造技術の変革は、デジタル印象によるスキャンデータの迅速な可視化、安全な治療計画の策定などにも寄与している。しかし、これら新技術の効果的な臨床応用のためには、適切な知識と臨床術式の習得が不可欠であり、継続的な情報更新が求められる。このセッションを通じて、明日からの臨床に役立つ最新情報を共有したい。

(座長 疋田一洋)

■臨床リレーセッション2

5月17日(土) 第2会場 15:00～16:30

可撤性義歯治療の勘所

座長：武部 純(愛院大)
講師：伊藤 誠康(日大松戸)
坂口 究(北海道大)
依田 信裕(東北大)

本臨床リレーセッション2では、「可撤性義歯治療の勘所」と題して、予後予測を考慮した部分床義歯設計と義歯修理の治療法、有床義歯における咬合論と咬合検査・評価法・治療法、部分床義歯に加わる力への対応・治療法などについて、有床義歯補綴学分野の第一人者である3名の教授にご講演をいただく。これらの治療法を安全かつ効果的に行うための科学的根拠や臨床での考慮点を探求し、知見を共有することを目的としている。

(座長 武部 純)

■臨床リレーセッション3

5月17日(土) 第2会場 16:40～17:50

高齢者・顎顔面補綴治療の勘所

座長：小林 琢也(岩手医大)
講師：隅田 由香(日歯大)
堀 一浩(新潟大)

高齢化の進展に伴い、補綴歯科治療は口腔機能の回復のみならず、全身の健康維持やQOL向上、疾病予防へと役割が拡大している。高齢者の補綴治療は多岐にわたり、形態回復だけでは口腔機能が十分に回復しないケースも多く、難易度も幅が広がってきた。本セッションでは、補綴専門医の知識、治療の考え方とその要点、さらには難症例を増やさないための工夫について解説し、難症例に向き合う先生方の臨床の一助となることを目指す。

(座長 小林琢也)

■臨床コンペティション（歯科技工士セッション併催）

（一社）日本歯科技工学会 共催

5月18日（日） 第2会場 13：30～15：30

歯科医師・歯科技工士コラボレートセッション

「可撤性床義歯—知と技と美の融合—」

座長：前川 賢治（大歯大）

岡本 和彦（明海大）

発表者：新保 秀仁（鶴見大）・原田 直彦（鶴見大）

鈴木 英史（大阪大）・奥森 健史（関西支部）

白井 麻衣（鶴見大）・野平 勇人（西関東支部）

栗原 崇實（大歯大）・山本 真珠（大歯大）

補綴歯科治療と歯科技工は不即不離の関係にある。それぞれの患者に対して、歯科医師と歯科技工士の緊密な連携がなされるからこそ、機能と審美が両立した補綴装置製作が可能となる。今回は「可撤性床義歯—知と技と美の融合—」をテーマとして、歯科医師と歯科技工士の二人一組で、両者の共同作業としての集大成ともなる症例を報告していただきたいと思う。発表者は公募により選抜し、会場参加者の投票で最優秀賞を決定する。

（座長 前川賢治，岡本和彦）

■ハンズオンセミナー 1

5月17日（土） 第5会場 9：30～10：30

第5会場 10：50～11：50

内視鏡による嚥下機能評価

講師：玉田 泰嗣（北海道大）

協賛：HOYA 株式会社

■ハンズオンセミナー 2

5月17日（土） 第5会場 13：30～14：50

歯科衛生士と協働する口腔機能低下症の管理+ α （サルコペニア評価）

講師：西 恭宏（鹿児島大）

協賛：株式会社ジーシー，株式会社ヨシダ，株式会社モリタ，株式会社インボディ・ジャパン

■ハンズオンセミナー 3

5月17日(土) 第5会場 15:20～16:50

How to シングルリテーナー接着ブリッジ

講師：大谷 一紀(東京支部)

協賛：株式会社ジーシー

■ハンズオンセミナー 4

5月17日(土) 第6会場 9:00～10:30

第6会場 10:50～12:20

磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～

講師：鈴木 恭典(鶴見大)

協賛：株式会社モリタ, 株式会社ケディカ

■ハンズオンセミナー 5

5月17日(土) 第6会場 13:30～16:30

包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

講師：小田 師巳(岡山大)

園山 亘(岡山大)

協賛：株式会社松風, クインテッセンス出版株式会社

■ハンズオンセミナー 6

5月18日(日) 第5会場 9:00～12:00

インプラント周囲炎の診断と外科的処置 ～切除療法と再建療法の実践

講師：中居 伸行(関西支部)

鈴木 秀典(関西支部)

協賛：株式会社ジーシー, 株式会社 フォレスト・ワン,

ガイストリッヒファーマージャパン株式会社, デンツプライシロナ, 株式会社茂久田商会

■ハンズオンセミナー 7

5月18日(日) 第6会場 10:00～11:30

自分にフィットする口腔内スキャナーを探そう —導入の時は来た—

講師：近藤 尚知(愛院大)

深澤 翔太(岩手医大)

馬場 一美(昭和医大)

協賛：デンツプライシロナ株式会社, ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社,
インビザライン・ジャパン合同会社, ストローマン・ジャパン株式会社,
3Shape Japan 合同会社, 株式会社ジーシー, 株式会社ヨシダ, 株式会社モリタ

■イブニングセッション 1

5月16日(金) 第2会場 16:50～17:50

インプラント周囲組織の生体反応制御

—免疫・骨代謝・ナノ材料が拓く新たな治療戦略—

コーディネーター：平田 恵理(北海道大)

発表者：近藤 威(東北大)

小堤 涼平(長崎大)

平田 恵理(北海道大)

■イブニングセッション 2

5月16日(金) 第3会場 16:50～17:50

口腔機能と全身に関する臨床研究の課題とその解決法

～因果の証明に近づくための創意工夫～

コーディネーター：三野 卓哉(大歯大)

発表者：三野 卓哉(大歯大)

黒崎 陽子(大歯大)

豆野 智昭(大阪大)

■イブニングセッション3

5月16日(金) 第4会場 16:50～17:50

部分欠損歯列における口腔内スキャンの勘所 —論文投稿の実際とその後の臨床応用に向けて—

コーディネーター：清水 廷浩(東歯大)

発表者：清水 廷浩(東歯大)

四ツ谷 護(東歯大)

■イブニングセッション4

5月16日(金) 第5会場 16:50～17:50

新時代のデジタル「補綴歯科教育」を考える

コーディネーター：長澤麻沙子(新潟大)

発表者：木原 琢也(鶴見大)

富田凛太郎(神歯大)

長澤麻沙子(新潟大)

■イブニングセッション5

5月17日(土) 第2会場 18:00～19:00

インプラント治療の長期安定を目指して 力学的観点に関する考察

コーディネーター：神野 洋平(九州大)

発表者：神野 洋平(九州大)

向坊 太郎(九歯大)

武田 侑大(東京支部)

■イブニングセッション6

5月17日(土) 第3会場 18:00～19:00

細胞系譜解析を応用した生命現象の理解

コーディネーター：大野 充昭(岡山大)

発表者：大野 充昭(岡山大)

加来 賢(新潟大)

土佐 郁恵(岡山大)

■イブニングセッション7

5月17日(土) 第4会場 18:00～19:00

明日からの補綴治療の質を高める LOT

コーディネーター：高野 遼平(新潟大)

発表者：高野 遼平(新潟大)

河村 篤志(東海支部)

谷山隆一郎(九州支部)

■ランチョンセミナー1

5月17日(土) 第1会場 12:30～13:10

リアルな義歯臨床のヒントがここにある！ Denture Café の魅力

座長：松田 謙一(関西支部)

講師：金澤 学(科学大)

松丸 悠一(東関東支部)

和田 淳一郎(科学大)

竜 正大(東歯大)

佐藤 洋平(鶴見大)

兒玉 直紀(岡山大)

協賛：一般社団法人ハイライフグループ

■ランチョンセミナー 2

5月17日(土) 第2会場 12:30～13:10

歯科用 PEEK の現状と今後の可能性

座長：澤田 克己（ポリプラ・エボニック株式会社）

講師：菅原 克彦（有限会社ケイエスデンタル）

協賛：ポリプラ・エボニック株式会社

■ランチョンセミナー 3

5月17日(土) 第3会場 12:30～13:10

「ワンチームの歯科技工」を実現する歯科技工基幹業務クラウド

講師：稲田 雅彦（エミウム株式会社）

協賛：エミウム株式会社

■ランチョンセミナー 4

5月17日(土) 第4会場 12:30～13:10

再生医療を実施する歯科医療機関向け支援プログラムについて

座長：本田 雅規（愛院大）

講師：飛田 護邦（順天堂大）

協賛：株式会社 Gaudi Clinical

■ランチョンセミナー 5

5月17日(土) 第5会場 12:30～13:10

L8020 乳酸菌とプロバイオティクス・ポストバイオティクス

座長：村田比呂司（長崎大）

講師：二川 浩樹（広島大）

協賛：L8020 協議会

■ランチョンセミナー 6

5月18日(日) 第1会場 12:40～13:20

新しいコンセプトと特徴を備えた「N 1インプラントシステム」の臨床効果

講師：松永 興昌（九州支部）

協賛：ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 7

5月18日(日) 第2会場 12:40～13:20

義歯安定剤に対する正しい知識

講師：黒岩 昭弘（松本歯大）

協賛：Haleon ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 8

5月18日(日) 第3会場 12:40～13:20

先進歯科医療機器が紡ぐ、IOSを中心とした Digital WorkFlow

講師：北道 敏行（日本臨床歯科 CAD/CAM 学会）

協賛：株式会社モリタ

■ランチョンセミナー 9

5月18日(日) 第4会場 12:40～13:20

FINESIA Relios® の臨床効果を明らかにする

座長：鮎川 保則（九州大）

講師：澤瀬 隆（長崎大）

協賛：京セラ株式会社

■ランチョンセミナー 10

5月18日(日) 第5会場 12:40～13:20

ミリングデンチャーの可能性と作製方法

座長：秋山 謙太郎(岡山大)

講師：窪木 拓男(岡山大)

協賛：株式会社鹿児島ミリングセンター

■市民フォーラム 2025

5月18日(日) 第3会場 14:30～15:30

知って得する入れ歯の話し

座長：松田 謙一(関西支部)

講師：木本 統(愛院大)

後援：Haleon ジャパン株式会社

義歯の経験が長い患者さんであっても、義歯を効果的に使いこなせていない場合があります。

今日は義歯の知識を深め、上手に義歯と付き合っていただくために、下段に示す話をさせていただきます。

- 1) 義歯の歴史：日本には木床義歯というものがあり、1500年代から存在していました。
- 2) 義歯の作り方：こんな理論で義歯は作られています。
- 3) 義歯の役割：食べる、話すだけでなく健康に大きな影響を及ぼしているんです。
- 4) 義歯装着者の食事方法：こんな工夫で食べやすくなります。
- 5) 義歯の清掃方法：義歯の周りには、細菌がいっぱい。しっかりお掃除しましょう。
- 6) その他

(講師 木本 統)